

食品の機能性表示に 関わる課題と将来展望

—特に、農林水産物の機能性表示に伴う科学的評価手法について—

◎主催: NPO法人21世紀の食と健康文化会議

◎日時: 平成26年6月2日(月) ●受付: 12:45~ ●開演: 13:20~17:30

◎場所: 南青山会館 Tel:03-3406-1365 東京都港区南青山5-7-10

◎参加会費: ●法人(一人当たり) 10,000円 ●個人 7,000円

◎内容

13:20~13:30 ■開会挨拶

NPO法人21世紀の食と健康文化会議 理事長 板倉 弘重 先生

13:30~13:45 ■シンポジウム開催主旨説明

座長 (元)公立大学法人宮城大学 副学長
内閣府消費者委員会「食品表示部会」委員 池戸 重信 先生

13:45~14:25 ■農産物等の機能性評価研究の進展と今後の課題

公立大学法人宮城大学食産業学部 教授
(元)独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構
食品機能性研究センター長 津志田 藤二郎 先生

14:25~15:25 ■食品の新たな機能性表示制度の検討状況と課題

独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 理事
食品総合研究所 所長
消費者庁「食品の新たな機能性表示制度に関する検討会」委員 大谷 敏郎 先生

15:25~15:40 ■コーヒーブレイク

15:40~16:40 ■食品の新しい機能性評価法開発の将来展望

東京大学 名誉教授 東京大学大学院農学生命科学研究科 特任教授
公益財団法人 神奈川科学技術アカデミー
「健康・アンチエイジング」プロジェクトリーダー 阿部 啓子 先生

16:40~17:30 ■質疑応答及びこれからの活動について意見交換

司会/NPO法人21世紀の食と健康文化会議 理事・事務局長 島崎 秀雄